

# 会議の概要

## 令和2年度 第3回

### おおたま学園コミュニティ・スクール委員会

兼 ○ 大玉中学校学校運営協議会

日 時：令和2年9月4日（金）16:20～17:55

場 所：大玉中学校 体育館

（進行 大玉中学校教頭 早川 貢）

#### 1 開会のことば （おおたま学園コミュニティ・スクール委員会副会長 吉田 都）

只今より大玉中学校学校運営協議会並びに第4回コミュニティ・スクール委員会（以下CS委員会と略記）を始めます。よろしくお願いします。

#### 2 教育長あいさつ （大玉村教育委員会教育長 佐藤 吉郎）

- 皆さんこんにちは。日頃より新型コロナウイルス等との闘いがある中、ご参加いただきありがとうございます。また、そのような中、大玉中の先生方には、子どもたちと共により授業を提供してください、本当にありがとうございました。御礼申し上げます。
- CS委員会は年に9回開催している。そのうち3回はオープンスクールを行い、授業とタイアップした形で実施している（授業参観→分科会）。今回のようなCS委員会は、学校に特化した形のもので、協議会の内容については学校毎に決めるようお願いしている。つまり、何をやるか等については全て学校で計画してもらっている。今回大玉中が作成した資料を見せていただいたが、内容は正に“直球勝負”の感じがした。詳細なデータを示し、それを基に熟議した結果を学校経営に活かしていこうとする意図が読み取れた。限られた時間ではあるが、十分な話し合いができるよう、皆様にはよろしくお願いいたします。
- 新型コロナ対応のため、熟議の際には場所を変えて行うようセッティングしてもらった。全体会はこちら体育館で、分科会は各教室でというようになっている。
- 今年度から、教育委員の方々にもオープンスクールとその後のCS委員会に参加してもらおうようにした。オブザーバーとしての参加となる。また、県北教育事務所の佐藤和仁主任社教主事にもご臨席いただいている。御礼申し上げます。



#### 3 おおたま学園CS委員会会長あいさつ（代理 おおたま学園CS委員会副会長 矢吹 吉信）

- 皆様、改めましてこんにちは。本日、会長が体調不良で欠席のため、代わってご挨拶申し上げます。本日はお忙しい中、そして暑い中、授業参観・分科会・学校運営協議会と長い時間の内容になっております。大変お疲れさまです。
- オープンスクールに参加して、熱心に授業に取り組む生徒達を見ていると、これまでの先生方の指導の積み重ねと準備があり、生徒達も先生方の頑張りをよく分かって学習に取り組んでいることが理解できた。先生方には心より感謝申し上げます。

- CS委員会は、学校の応援団である。これから学校では様々な行事があるので、バックアップしていきたいと考えている。今日もこれから協議等が予定されているが、校長先生始め先生方に今困っていることについてお聞きしながら、CSとしても進めていきたいと考えているので、よろしくお願いします。



#### 4 おおたま学園CS委員自己紹介

(ここでは本日参加している大玉中学校教職員の自己紹介とする。CS委員についてはグループごとの協議の折に行う。)

#### 5 協議

(進行 大玉中学校教頭)

##### (1) 令和2年度の学校運営について

(大玉中学校 校長 安田 浩明)

(パワーポイントを使って説明)

- 本年度、コロナ禍において子どもたちはいろいろと苦労しているところである。先日、10月に行われるあだたら祭のテーマが決定された。コロナ禍においても文化祭ができる喜びと感謝の気持ちを込めて、“よみがえった不死鳥のように、そして燃え上がった炎のように、上へ上へと頂点を目指す”とし、「大玉中の新たなスタートになって欲しい」という願いを込めたということである。こうした子どもたちの願い、そして私たち教師の願いは七色の色を放っている。そして、その一つ一つの色が、「持ち味があって、その持ち味を發揮しながら全体としても調和のとれた虹であり、その虹は、子どもたちが憧れるような、見上げるようなものでありたい。子どもたちと私たちの願いが重なり合って、大玉の子どもたちが、自分たちの学校にプライドを持ち、それがさらに昇華して、大玉をブランド化しようと考えてきたところである。
- 学校経営・運営ビジョンは、子どもたちをどのように育てていくかを表したものである。大玉中学校の教育目標が示すように、「知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成」に努めていきたいと考えている。
- **子どもたちに身に付けさせたい資質・能力について**  
 “資質能力＝自ら問題を発見し、解決に向けて主体的に学習に取り組む生徒”であり、これは現職教育のテーマにもなっている。そして、“「認知スキル」＝頭の良さ”だけではなく、それプラス潜在的な力である「非認知スキル」を併せ持った総合的な力をつけさせていきたい。  
 大玉中の子どもの実態を考えて、どのような力、どのような資質・能力を身に付けさせればよいのかという観点で、皆様に協議していただければと思っている。
- **知育面「授業の充実と学力の向上」について**  
 これまでも「授業の充実と学力の向上」のために、教職員が研究主題を設定し研究してきた。今年度はこのテーマでの研究2年目であり、指導と評価の一体化に重点を置いて取り組んでいる。本日は、この後の協議の中で、学習サイクルの確立と自主学習の質の向上について話し合ってもらいたいと思う。今年度のコロナ禍の中で、家庭学習の重要性が注目を浴びたが、家庭と協力しながら子どもの学習に向き合う力や態度を育てていきたいと思っている。  
 その際に、県から配付されている「授業スタンダード」「家庭学習スタンダード」など素晴らしいものがあるので、学校でも活用している。そのような話題も出てくるかも知れない。
- **徳育面「人間性・社会性の育成」について**  
 「人間性・社会性の育成」ということで、この後のグループ協議では「メディア・リテラシーの

推進と家庭の連携」について協議していただきたい。モバイルの所有率は、中学生ともなるとほぼ9割である。使用時間は、平日で約2時間、休日では3時間という回答が多かった。その辺も話題としてあがってくると思う。

この「人間性・社会性の育成」については、重点目標としては他にSDGs、キャリア教育の充実、QUアンケートを活用した生徒理解と好ましい集団づくり、そして、考え議論する特別の教科道徳、あいさつ運動の充実等にも取り組んでいきたい。

○ **体育面「心身の健康増進と安全指導の充実」について**

心身の健康増進と安全指導の充実ということで、この後のグループ協議では、望ましい生活習慣の確立について話し合っていただければと思う。肥満傾向の生徒の割合が全体の18%になっている。朝食の摂取率は、平日は9割近くなのだが、一番問題だと思われるのが、午前0時以降に就寝するというのが休日だと多くなってしまっていることと、それと関連するのだろうが、3時間以上のメディア使用率が高くなっていることである。

○ **村が目指す「地域と共に歩む学校づくり」について**

地域の力を生かした教育活動の展開をどうしたらいいかについても、協議の一つとして話し合っていたこととなる。学校と地域がパートナーとしての連携・協働を強めて、「みんなで支え、みんなで育て、みんなで育つ大玉の教育」という村の目標に向かって、この大玉中が大玉の「村の学校」と言われるように頑張りたい。

私は4月から大玉中に赴任したが、4月から地域の皆様の学校への応援と熱い思いを強く感じている。そして、いろんな面で物心共にご支援とご協力をいただいていることを感じている。それに対して、一方的でなく、子どもたちがどう地域に貢献できるか、また、貢献できるような子どもたちを育てるにはどうすればいいか等についても考えているところである。



- 先程来述べたが、今年度の重点からということで、以上の5つの点から本校の教育活動に対して、CS委員の皆様から提言いただき、実りのある会にしたいと思っている。この後の協議を、どうぞよろしく願いいたします。

(2) グループ協議「本校の教育活動について」説明

(大玉中学校教頭)

大玉中学校の子どもたちの豊かな成長のため、学校と保護者や地域の皆さんにそれぞれの立場で“できること”“行いたいこと”“お願いしたいこと”等を出し合う。

【進め方】

グループ(1～4班)の協議題について

- ① 班にいる本校教員から、現状と課題、今年度の取組についての説明を聞く。
- ② 地域・家庭(保護者)ができること・が行いたいことをピンク付箋紙に、学校ができること・をお願いしたいことを青付箋紙に書き出す。
- ③ KJ法でそれぞれの考えを共有し、同じ内容についてまとめる。
- ④ できること、行いたいこと、お願いしたいことについて協議する。  
→ ④について司会者が発表し、全体で共有する。

### グループ（5班）の協議題について

- ① 班にいる本校教員から、現状と課題、今年度の取組についての説明を聞く。
- ② 子どもたちに身に付けさせたい資質・能力を緑付箋紙に書き出す。
- ③ ②で書いた資質・能力を身に付けさせるために、  
地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと、地域・家庭（保護者）にお願いしたいことをピンク付箋紙に、学校ができること、学校にお願いしたいことを青付箋紙に書き出す。
- ④ KJ法でそれぞれの考えを共有し、同じ内容についてまとめる。
- ⑤ 資質・能力、できること、行いたいこと、お願いしたいことについて協議する。  
→ ⑤について司会者が発表し、全体で共有する。

### （3）グループ別協議（25分間 ●重点事項）

- 授業の充実と学力の向上[被服室] → 1班 学習サイクルの確立と自主学習の質の向上
- 人間性・社会性の育成[技術室] → 2班 メディア・リテラシーの推進と家庭の連携
- 心身の健康増進と安全指導の充実[3-2] → 3班 望ましい生活習慣の確立
- 地域と共に歩む学校づくり[3-3] → 4班 地域の力を生かした教育活動の展開
- 学校運営・経営の基盤[調理室] → 5班 資質・能力の育成

### （4）グループ別協議の発表・共有

- ① 1班 学習サイクルの確立と自主学習の質の向上 … テーマ：家庭学習の充実～「家庭学習スタンダード」「おおたま学習習慣を身につけよう！」「学習の約束」の活用～

#### ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 学習環境を整えること。テレビを消す、見えるところで学習する、親子で一日のスケジュールを作ること等である。また、アンケートの回答結果で、親と子の違いの差が大きかったので、親が子どもの姿をもっと見る必要があるのではないかと等の意見も出た。
- 学校と地域・家庭、両方で共通して話がなされたのは「きっかけづくり」である。地域・家庭では言葉かけだけでなく、子どもと一緒に考えたり、取り組んだり、夢について話したりすることが大切である。親が、自分がどんなことをしてきたのかを子どもに話すことをきっかけにして、学習に向かうこともできるのではないだろうか。
- 大玉村の地域性として、地域の人たちが子どものことをよく知っているというよさがある。地域行事に参加することをきっかけづくりとして学習意欲の喚起につながるのではないかと考える。

#### イ 学校ができること・行いたいこと

- 改善センターで3年生向けに土曜未来塾が行われている。それを1、2年生にも活用できるようにすればいいのではないか。
- 保護者に対しても、親と子でできるような宿題をだしてみるのもおもしろい。
- 生徒の下校時刻を早くできれば、学習時間（学年＋1時間）を確保できるのではないか。
- 「授業を充実させること」をきっかけとして、子どもが「もっと勉強してみたい」「もっと知りたい」というような姿に変容していくのではないか。



② 2班 メディア・リテラシーの推進と家庭の連携 … テーマ：メディアの特性を理解し、正しく活用するために ～家庭・学校・地域との連携～

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- SNSの使い方について見直しが必要。親も子どもたち同様に取り組むようにしていくべきである。
- スマホ等の契約時には確実にフィルタリングを行うこと。誰と連絡し合っているのかについてもしっかりと把握すること。
- 保護者も知らなければならないことがたくさんある。メディアでできること、子どもがどんな使い方をしているのかを知るためにも、保護者もしっかりと学習する必要がある。
- SNSを利用するための最低限のルールをしっかりとつくること。
- スマホを使用すると、調べ学習をするのに能率が上がるということも考えられる。それを踏まえて、子どもたちとのレベルの共有というのも大事である。
- 多くの時間をインターネット等に費やすということは、家庭でのふれあいや温かな時間が不足しているということ。子どもに寂しいと思わせないことが大事。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 授業を通して、可能な限りメディアの使い方を理解させ使用するようにさせること。
- ホームルームの時間を活用して指導する。
- 外部の専門的な講師を招いて学習会（講演）を行う。昨年度実施し、全生徒は聴講することができた。平日に実施したため、保護者の参加は少なかったが、非常に内容の濃いものだった。今後も保護者自身がSNS等について研修を積んでいかないと、適切な指導ができないものと思われる。



③ 3班 望ましい生活習慣の確立 … テーマ：自己の生活を振り返り、よりよい生活習慣を身につけようとする生徒の育成

ア 地域・家庭（保護者）ができること・行いたいこと

- 朝食や食生活などについて、直売所等で季節の野菜や地元の野菜をPRしながらメニューの紹介をする。そして、“村民の日”を利用して村全体でそのメニューの朝食を摂取する。
- 防災無線を利用して、早寝早起きやメディア利用時間の制限について呼びかける。

イ 学校ができること・行いたいこと

- 生活習慣について生徒に振り返らせた後に、生徒や保護者に具体的な手立てを示す。（「〇〇しましょう」だけでは実際にどうしたらいいか子どもも保護者も分からないと思われるので）

④ 4班 地域の力を生かした教育活動の展開 … テーマ：地域の力を生かした教育活動の展開  
～どのような活動で、どんな力を身に付けられるだろうか～

「たくましさを育てたい」

- 身体だけでなく、精神的なたくましさ（忍耐、がまん）を感じさせるような経験をさせ、そして、その後の達成感を得られるような活動ができるとよい。

ex. 種まきから収穫までに関わるような活動

- ・ 中学生の行事は、いつも一番いい所を地域の方に提供してもらっている（一番おいしい所をもらおうという感じである）。失敗経験から“たくましさ”がでてくるのではないかな。

「社交性（含 あいさつ等）を高める活動」

- 新しい行事をつくるということではなくて、すでに実施されている地域のクリーンアップ作戦や草刈り等にボランティアで参加するというような地道な実践を行う。そこから地域の自然や住民と関わりながら、あいさつも自然とできる。そんな活動が学校と地域でできるとよい。

⑤ 5班 学校運営・経営の基盤 … テーマ：資質・能力の育成

「子どもたちに身に付けさせたい資質・能力」

- 向上心、積極性
  - 思いやり、あいさつ
  - 大玉愛

- ・ 向上心が不足しているのはなぜか → 普段の生活に満足しているところがあるのではないか。「大玉では育たない?」「何が正解なのかが分からない」
- ・ 大玉の子どもたちに、どうやって上記の力をつけさせていくかを考えていくことがこれからも重要である。

(5) 講評

(おおたま学園CS委員会副会長 矢吹 吉信)

本日の協議で新しい提案をいただいた。これで終わりにするのではなく、この提案を実現することが大切である。すぐにできることからどうにかして実現していきたい。CSの会議や他の会議等でも皆さんの提言を広め、少しでも実現できるようにしていくようにしたい。

(県北教育事務所 主任社会教育主事 佐藤 和仁 様)

- 本日はどうもありがとうございました。御礼を申し上げます。今回初めてCS委員会に参加させていただき、正直感激している。素晴らしい活動が目前で展開されているのを見せていただいた。
- 国では、今の子どもたちが大きくなり10年位経った頃にどんな社会になるかを考えると、いわゆる Society 5.0 (IoTと呼ばれる「モノのインターネット」、AI (人工知能) の発展) 時代が目前に来ていると述べている。そして、予測のできない大変複雑な社会が待っているだろうとも言っている。こういった中で、今目の前にいる子どもたちが、たくましく生きる力を発揮して生活していくためには、やはり今日の分科会での提言にもあったように、子どもたちの自己肯定感やコミュニケーション能力等をしっかりと身に付けていくことが正に必要である。つまり、学校だけでは教えきれない内容を社会、地域の皆様の力を借りて、社会総がかりで今の子どもたちをしっかりと育てていく必要がある。
- 「地域と共にある学校」が今学校のあるべき姿として明示されている。しかしながら、CSを導入している学校はまだ多くはない。県北域内でも数えるぐらいである。そういった中で、大玉村は、おおたま学園構想の下、非常に充実したCSを展開している。これは、県北教育事務所としてもぜひ広く発信しなければならないことである。さらに、CSと地域学校協働活動を一体化させて促進しているのも素晴らしい。地域学校協働活動についても、まだまだ国の補助や委託などを受けられるようになっているので、事務所としても、そちらのお手伝いをしながら、少しでも力になればと考えているところである。



- 本日は身の引き締まる思いで参加させていただいた。「学校を核として夢を育てる大玉村」、「学校で夢を叶える大玉村」は大変素晴らしい目標である。大玉中学校の校長先生の話にもあったが、虹は7色であるが、よく見ると色と色の間が微妙な色になっている。子どもたち一人一人は個性溢れる一人一人であるが、必ず隣り合った人、まわりの人たちと手を合わせ、心を合わせて、微妙な色合いを出しながら、相手や自分を大切にしながら育っていくことが大事なのかなと思っている。ぜひ、虹のように輝く素晴らしい大玉村の子どもたちを、皆様の力で温かく見守り、伸ばしていただきたいと思う。また、県北教育事務所としても、研修を重ね、様々な面で力添えをしながら、大玉村の素晴らしさを発信していきたいと思う。本日は誠にありがとうございました。

#### (6) 御礼のことば

(大玉中学校 校長)

本日はお暑い中、県北教育事務所主任社会教育主事 佐藤先生、CS委員の皆様、村教育委員の皆様、そして、幼稚園・小学校の先生方に参加いただき、多くのご指導とご提言をいただいた。明日からの本校の教育に役立てていきたいと思っている。

「地域と共に歩む学校づくり」を目指しているわけだが、ありがたいことに、ここ大玉村では、その組織、システムが確立されている。これを活かし、実践していきたいと思う。ただ、今年はコロナ禍によってなかなか地域の方々の力を最大限に活かすことができなくなっている。明るい未来を信じて、地域と学校が力を合わせながら教育に当たっていききたいと思う。そういう意味でも、今日の協議の内容をもう一度精査して、全校でこれから取り組んでいきたい。

本日はありがとうございました。今後ともよろしくをお願いします。



#### (7) 事務局から

(大玉中学校 教頭)

アンケート（感想等）の提出をお願いしたい。

#### 6 閉会のことば

(おおたま学園CS委員会副会長 大山明美)

皆様、暑い中長時間ご苦勞様でした。これで第3回大玉中学校学校運営協議会を終わります。ありがとうございました。